

『障がい者アート展示会』

近年、障がいのある人が制作した美術に対する関心が高まっています。作り手の側から見たとき、それは障がいのある人の自己表現や社会参加の機会の増加につながります。また、障がいのある人に自立の道を開くという可能性もあります。他方、美術鑑賞という観点からも、障がいのある人の作品は、時として美術界の常識やルールから解放された自由さや大胆さによって、多くの人々の心をとらえています。

本展示会は、国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)が本年度から本格的に取り組む障がい者アートの紹介の第1弾として、障がい者の芸術・文化の発信機能を担うものです。

大阪府域で精力的な創作活動を行っている障がい者支援の福祉施設や絵画教室の作品約40点を紹介し、障がい者アートの魅力の一端に迫ります。

- 会 期 平成21年8月5日(水)～8月8日(土)
- 開場時間 午前10時～午後5時 [但し、5日(水)の14:00～15:30は
講演会開催中につきご入場できません。]
- 場 所 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 1F 大研修室
- 出展施設 (50音順)
アトリエ・コーナス (大阪市阿倍野区)
アトリエひこ (大阪市平野区)
せんぼく障害者作業所〔アトリエ夢のかご〕(堺市)
- 主 催 (財)大阪府地域福祉推進財団 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)



大川 誠

《けったいなものが見たい》

2005～07年頃 マーカー・ポスターカラー・紙

障がい者アートの現在

～福祉と芸術の間で～



講師 **服部 正**

(兵庫県立美術館・学芸員)

1967年兵庫県生まれ。大阪大学大学院文学研究科を経て1995年より現職。美術館での展覧会の企画、運営に関わるほか、障がい者など正規の美術教育とは無縁の人たちによるアウトサイダー・アートを専門分野として、研究、執筆等の活動を行っている。著書に『アウトサイダー・アートー現代美術が忘れた「芸術」』（光文社新書）がある。2008年度より甲南大学人間科学研究所客員特別研究員。

- 日時 平成21年8月5日(水) ▶14:00～15:30
- 場所 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 1F 大研修室
堺市南区茶山台1-8-1 (泉北高速鉄道 泉ヶ丘駅前)
- 定員 130人(応募多数の場合は抽選)
- 主催 (財)大阪府地域福祉推進財団 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)

応募締切 7月31日(金) 必着

応募方法 ①住所 ②氏名(フリガナ) ③電話番号④FAX番号 をご記入のうえ、
メール proj@big-i.jp か FAX (072) 290-0972 にてご応募ください。

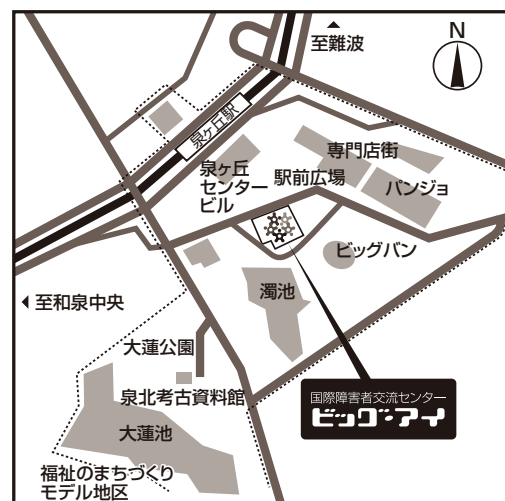
ご応募いただいた個人情報については個人情報保護法関係法令等を遵守し、「障がい者アートの現在～福祉と芸術の間で～」に関するご連絡及びデータ分析以外の目的では使用いたしません。

障がい者アート展示会同時開催

▶8月8日(土)まで (※詳しくはチラシの裏面をご覧ください。)

講演会・展示会に関するお問い合わせ 土・日・祝を除く9:30～17:30

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
TEL (072) 290-0974
<http://big-i.jp>



難波から準急で約30分(南海電車・泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅前)